



国際ロータリー第2660地区

地区委員会
活動計画書

1993～'94年度

ガバナー 大森 慈 祥

1993年 7 月 10 日(土)
於：辯天宗信者会館

1993-94年度

国際ロータリーのテーマ

行動
に
信念を



信念
は
行動に

Robert R. Jarvis,

ロバート R. バース
国際ロータリー会長

目 次

扉

目 次

プログラム

合同地区委員会開催に当たって ガバナー 大 森 慈 祥 5

地区ガバナー指名委員会 7

意義ある業績賞委員会 8

クラブ奉仕部門

会員増強委員会 9

広報・雑誌委員会 10

規定情報委員会 11

職業奉仕部門

職業奉仕委員会 12

ボランティア委員会 13

社会奉仕部門

社会奉仕委員会 14

環境保全委員会 15

青少年奉仕部門

青少年活動委員会 17

ローターアクト委員会 18

インターアクト委員会 21

国際奉仕部門

世界社会奉仕委員会 24

青少年交換委員会 25

国際交流・平和委員会 30

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会 32

国際親善奨学金委員会 33

財団増進委員会 35

財団学友委員会 36

研究グループ交換委員会 38

米山奨学部門

米山奨学委員会 40

拡 大 部 門

拡 大 委 員 会 43

ロータリーの友 44

財 務 委 員 会 45

地 区 大 会 47

国際ロータリー第2660地区
1993～'94年度 合同地区委員会

プログラム

1993年7月10日(土) 登録10:00～

於 : 辯 天 宗 信者会館 3F

進 行 : 地区代表幹事 清 野 耕 作

- | | | |
|-------------|---|--|
| 10:30 | 開会・点鐘
ロータリー・ソング「奉仕の理想」 | ガバナー 大森 慈祥 |
| 10:33～12:00 | 本 会 議
就任挨拶・参加者紹介
退任ご挨拶
委員会本年度の方針と活動 | ガバナー 大森 慈祥
直前ガバナー 山 中 文 和
各委員会 委 員 長 |
| 12:00～13:00 | —— 休憩・昼食 —— | |
| 13:00～14:30 | 本 会 議
G.S.E.団員の紹介
委員会本年度の方針と活動 | 委員長 細 江 重
各委員会 委 員 長 |
| 14:30～14:45 | —— 休 憩 —— | |
| 14:45～15:55 | 本 会 議
委員会本年度の方針と活動
地区資金の運用について
地区年次大会について | 各委員会 委 員 長
財務委員長 中 村 憲 次
委員長 坂 井 正 男 |
| 15:55 | 閉会の挨拶
ロータリー・ソング「手に手つないで」 | ガバナー 大森 慈祥 |
| 16:00 | 閉会・点鐘 | ガバナー 大森 慈祥 |

合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 大 森 慈 祥

今年度のR Iのテーマは

行動に信念を 信念は行動に

であります。

私たちロータリアンはみんな信念を持っています。その信念とは、奉仕の理想であります。つまり、私たちが奉仕することによって多くの人が苦しみから助けられ、そして世界の平和に役立つことができるのだ、という確信です。私たちは、このような確信、つまり信念をもって奉仕します。

バース会長は、立派なロータリアンとは、ロータリーの高い水準と理想の下に自分の信念に従って行動する人であると言われていました。

信念をもって行動しましょう。信念をもって地区の活動を推進しましょう。

バース会長は、山登りに例えて、みんなで力を合わせねばならないことを強調されました。そして、山登りに使うロープが私たちのロータリーの共通の信念であり、私たちの命であると言われました。この信念というロープで私たちは結ばれており、そして、お互いに信頼し合うことを保証しているのだと言われました。

地区委員会の委員の皆様、ごいっしょに山に登りましょう。ロータリーというロープで結ばれているとはいえ、平坦な道もあれば、デコボコの道もあるでしょう。みんなで力を合わせれば、見上げるような高い山も登り切ることができます。

登りきった時の頂上からの眺めをいっしょに楽しむことができるでしょう。きっとできます。

信念を持って登りつくために行動しましょう。委員会の委員の皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。

- 1) バース会長がおっしゃったように新しい歯車は作る必要はありません。つまり今年度は新しい活動計画は立てず、昨年までの計画をより強力に押し進めるということに致します。
- 2) R I会長の提唱するプログラムを推進する。

- 3) 会員の増強目標を10パーセントとする。拡大は2クラブの新設を目標とする。
- 4) ロータリー財団の寄付金の目標は会員一人当たり130ドルとする。
またベネファクターをクラブで1名の目標とする。
- 5) 米山奨学会の寄付金も前年度同様の目標とし、功労者をできるだけ多く勧誘する。
- 6) GSEを完全に遂行する。
- 7) 4大部門のバランスのとれた活動を推進する。
- 8) 新会員へ情報をよく提供し、良きロータリアンを育成するため、新会員のための研修セミナーを開催する。
- 9) 地区委員会の活動がバランス良く遂行できるように、委員会間の連絡を密にする。

バース会長が示されたように、行動することによって、困難な事態も乗り切ることが出来ます。委員会の委員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

地区ガバナー指名委員会

委員長	山中文和(大阪南)	委員	中西正二(大阪西)
委員	原田秀雄(大阪北)	同	坂東宏(吹田)
同	伊藤恭一(大阪)	同	松本良諄(大阪東)
同	伊瀬芳吉(池田)	同	古田敬三(大阪)
同	種田憲次(大阪住吉)	同	武尾敬之助(大阪西北)
同	戸田孝(八尾)	同	廣瀬勘一郎(大阪西南)
同	世戸一夫(大阪難波)	同	菅生浩三(大阪北)
同	中村俊一(東大阪)		

- 1) 地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信2号において、1995～'96年度の地区ガバナー・ノミネー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を9月末日とする。
- 2) 10月1日以降、出来るだけ早く指名委員会を開き、候補者の指名を行い、ガバナー月信7号で公示し、7号乃至8号でガバナー・ノミネーの宣言を行う。

意義ある業績賞委員会

委員長 山 中 文 和(大阪南)

委 員 廣 瀬 勘一郎(大阪西南)

同 菅 生 浩 三(大阪北)

- 1) ガバナー月信2号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を10月末日とすることを公示する。(申請手続きについては手続要覧53～54頁参照)
- 2) 12月1日までに選考委員会を開催し、5クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに送達する。
- 3) 各ロータリークラブに対して、幅広い奉仕活動の実践につき積極的に申請することを勧奨する。

ク ラ ブ 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 山 中 文 和(大阪南)

会 員 増 強 委 員 会

委員長 山 本 三 雄(大阪大淀)

委員 八 田 昌 三(豊中南)

同 中 西 敏 明(吹田西)

同 山 崎 啓 一(大阪平野)

会員の増強とは、適確な会員を増加させ、クラブの活力を強化することです。私どもは、私どもの活動の成果を社会に提供して行く責務を負っていることの自覚の上に立って、その責務を実現するためにロータリークラブに入会し、ロータリアンとして活動を続けているものであります。適確で活動的な会員が一人でも多く私どものクラブに入会し活動的なロータリークラブ活動に参加していただければ、クラブのロータリー活動はそれだけ多様な充実した力強いものとなり、ロータリー活動の存在意義が社会的に高まることとなる。会員の一人一人が、適確で、誠実な、活動的ロータリー会員を選び、積極的に各クラブでの新会員の増強に努力していただくよう努める。

活 動 計 画

1. 地区内各クラブの会員増強意欲の盛りたてをはかり、会員増強推進フォーラムを企画し、各クラブの会員増強を可能な限り若い活動的な新しい会員を獲得できるように努める。
2. 前年度同様に会員歴5年以上の会員で、まだ一人も会員増強をしていない会員に是非会員増強に協力していただく。各クラブでの会員増強委員会活動を活性化していただくように、地区会員増強委員会が卓話及び視聴覚資料での情報資料の提供を積極的に推進する。
3. 会員数50名未満のクラブの会員増強を、前年度に引き続き重点的に各クラブの会員増強委員会と接触し、会員増強意欲の推進を引き出すよう具体策を検討する。

4. 会員数80名以上のクラブには退会会員の数値及び退会理由の検討を依頼し、各クラブの会員増強委員会に退会防止策をお願いする。
5. 地区内クラブの会員増強の実態を調査し、減少クラブ、増強出来ないクラブ及び退会会員の多いクラブ、の実態を究明し、原因の検討会を開く。
6. 各クラブの職業分類表に基づき、職業分類委員会、会員増強委員会及び会員選考委員会が委員会活動を密にし、積極的な各クラブの会員増強活動をお願いする。

広報・雑誌委員会

委員長	足達忠利(吹田)	委員	竹田正司(大阪心斎橋)
委員	福西幸夫(大阪心斎橋)	同	小松陽一郎(大阪阪和)
同	木戸栄久(大阪)	同	清野耕作(茨木)

活動計画

1. 早い機会に、在阪主要新聞、放送、通信社の幹部とガバナーとの懇談会を開催し本年度のロータリーの奉仕活動の主要テーマを説明し、広報をお願いする。
2. 8月にクラブ広報・雑誌委員長会議を開催して、地区としての基本的な考え方を説明する。
3. 「ロータリー広報ニュース」を適時に発行して、報道関係約50社に送付し、広報に務める。
4. 「ビデオ・スライド銀行」製作のビデオ作品を各クラブの卓話の時間に観ていただくよう、徹底した依頼活動を行う。
5. 「ロータリーの友」英語版を年2回、各クラブの海外姉妹クラブに送付し、日本のロータリーの現状の一端を知らせる。
6. 4月の「雑誌月間」の前に、各クラブ雑誌委員長に「友」に関する資料を送付して、利用していただくよう務める。

規 定 情 報 委 員 会

委員長	土 井 正 裕(大 阪 北)	[卓話銀行]
委員	赤 根 賢 治(大 阪 阪 和)	委員 伊 藤 徳次郎(吹 田)
同	大 原 健 司(大 阪 東)	同 橋 本 崇 志(大 阪 北)
同	田 中 寿 秋(大 阪 な に わ)	同 岩 田 宙 造(大 阪 南)
同	野 上 五 夫(豊 中)	
同	向 井 伸 太(東 大 阪)	
同	中 田 康 仁(大 阪 南)	

1) ロータリー情報の周知。

イ) クラブ規定情報委員長会議を開催し、重要なロータリー情報の周知に努める。

ロ) 第1回クラブ委員長会議の資料として、アンケート調査を早急に行う。

[質問事項]

①ロータリー情報に関する質問事項。

②『システム・マニュアル(再改訂版)』についての意見。

③地区規定情報委員会に対する要望事項。

ハ) ロータリー情報に関する質問を、会員から募り、『ガバナー月信』を通じて、或いは個別に回答する。回答内容については、ガバナー、パスト・ガバナー等の方々のご指導をいただく。

ニ) 『システム・マニュアル』購読のお奨め。情報項目の補完。

2) 「新会員向けロータリー情報集」(基本的な情報集)の編集。

新たに入会された会員に、ロータリーを正しく理解してもらうために、必要な基本的な情報を収録した小型版のテキストを編集する〔「綱領その他に関する説明」と「ロータリー用語解説」〕。

3) ガバナーが主宰される「新会員研修会」のお手伝い。

4) 1995年規定審議会に、クラブから制定案または決議案が提出される場合の対応。〔ガバナーは、事前に地区大会に付議し、または郵便投票で、地区内全クラブの賛否を問うことが必要となった。〕

5) 卓話銀行

イ) 一般外部講師については、一部の入れ替えを行い、また、

ロ) ロータリアン講師については、改めて各クラブからご推薦いただき、「新卓話講師リスト」を全クラブに送付した。

職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 松 本 良 諄(大阪東)

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長	浅 沼 清太郎(大 阪)
委員	北 村 巖(大阪梅田)
同	山 田 潤太郎(大 阪)
同	河 上 英 夫(大 阪 東)
同	久 我 三 郎(大 阪 南)

1. 基 本 方 針

職業奉仕は、みんなのためになるよう会員個人個人が企業における職業活動において常に職業倫理の向上を目指し活動する、ロータリー活動中最も基本的で重要な奉仕活動であり、クラブは会員のこの活動を鼓吹育成する任務を担っている。

当委員会は、この職業奉仕活動の効果的な実践に向けて

- 職業奉仕の意義
- 倫理基準である職業宣言、四つのテスト、道徳律、社是・社訓
- この活動に関する会員とクラブのそれぞれの役割や方法についての指針たる職業奉仕の新方針

それぞれについての理解を推し進める。

2. 活 動 計 画

(1) 卓 話

- 職業奉仕の意義
- 職業宣言、四つのテスト、道徳律、社是・社訓について
- 職業奉仕の新方針の意義
- 違法駐車、ゴミ問題
- 企業における身障者問題

- (2) 会員の事業所見学
- (3) 職業活動表彰
- (4) 違法駐車問題の解消、企業におけるゴミ問題等についての具体的実践活動

ボランティア委員会

委員長	杉本久仁一(八尾中央)
委員	岡本克持郎(大阪城南)
同	四稜行雄(大阪阪南)
同	松岡晃一郎(大阪うつぼ)
同	長澤彰(豊中千里)

1. 活動方針

昨年度、社会奉仕部門より職業奉仕部門に所属の変更があり、ボランティアの登録とプロジェクトの要請が主たる任務として課せられた。

この登録の啓蒙を目的にして一年が経過したが、今年度は活用に重点をおき、そのために、ロータリアンの方々に前年より積極的に登録をお願いしたい、と考えている。

2. 活動計画

- a. 現在のロータリアンが、ボランティア登録が難しい、と考えておられるのはなぜか？ を考え、その解決にむけ努力したい。
- b. ロータリーにふさわしいプロジェクトの発見と要請を、全会員にお願いする。
- c. 各クラブの優れたボランティア活動家に対して、ガバナー表彰を申請する。

社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 廣瀬 勘一郎(大阪西南)

社会奉仕委員会

委員長	大橋	融(大阪北淀)
委員	新津	敬直(大阪西)
同	福田	守(大阪阪和)
同	吉山	公(大阪中央)
同	亀井	龍彦(大阪阿倍野)
同	木下	久則(交野)
同	村岡	大輔(大阪西)
同	平川	恵一(大阪北)

活動方針

社会奉仕は、「ロータリーの心臓の鼓動」と言われ、市民の生活水準を高めようとする多面的な活動です。

因って、当委員会では過去の顕著な実績に加え、地域の広範囲にわたる問題やニーズを取り入れると同時に地区内のロータリアン全員の参加を目指し、時間と心と体を提供できる意義のある共同奉仕が出来るように地区プロジェクトを計画すると共に、情報や傾向・論点を探すことに協力を惜しまず、効果的な活動を実施する為に努力します。

活動計画

①高齢者に対する社会奉仕活動

- イ) 高齢者に対する心遣い
- ロ) 高齢者の雇用問題
- ハ) 高齢者の作文、審査、表彰
- ニ) 老人ホームに対するロータリアンの対処の仕方
- ホ) 寮母に対する慰問

へ) 海遊館の集い

ト) G S C ロータリアンの70歳以上・高齢者の交流

②地域に対する奉仕活動

イ) 身障児等とロータリアンの仲良し運動会か、身障児等の白浜招待旅行のどちらか

ロ) 身障者の雇用問題 (ヘルスキーパー)

ハ) 里親制度の問題

環 境 保 全 委 員 会

委員長	遠 藤 渉(大 阪)
委員	岡 部 次 郎(箕 面)
同	藤 江 正 謹(大阪阪和)
同	南 克 昌(大阪南西)
同	高 室 光 博(大阪淀川)
同	櫻 井 勲(大阪本町)
同	栗 田 徹 也(大 阪 南)

委員会設置後3年間、担当松本PG及び廣瀬PGのご指導のもとに委員会活動を進めてきた。

第1年度は、環境保全に関する啓蒙の年度と位置付け、大気汚染問題や廃棄物問題の現況について地区として講演会を実施するとともに、単位クラブからの要請に応じて卓話への講師派遣などを実施した。

第2年度は、啓蒙・情報提供から一歩前進し、問題を廃棄物問題に絞り、地区の事業として、廃棄物埋め立て処分地ならびに廃棄物焼却工場の実地見学会を実施し、環境保全に対する理解をより一層深めることとした。と同時に単位クラブの環境保全活動例等のアンケート調査を実施した。

第3年度は、ロータリークラブとして環境保全問題にどう取り組むべきかの手引書『ロータリーと環境問題』を作成した。この手引書の作成に当たっては地区環境保全委員近藤雅臣氏(大阪大学薬学部教授・千里RC)の手を煩わした。

この『手引書』の特徴は、環境問題について、国として何をなすべきか、地区として何をなすべきか、単位クラブとして何をなすべきか、段階毎に解説されており、いままで解明されていなかった観点から取り上げた画期的なものであった。さらに、廃棄物のリサイクル問題をとらえ、平成5年4月に「千里リサイクルプラザ」の見学会を実施した。

第4年度の本年度は、岡部前委員長の方針を継承し、(1)各クラブは自主的活動を積極的に推進していただく。(2)クラブ環境保全委員長(担当者)会議を開催し、意見交換を行う。(3)単位クラブの環境保全活動例等のアンケートを実施する。(4)地区としては、水質汚濁防止問題の見学会を実施したい。

会 員 委 全 組 員 表

(東 大)	赤 井 義 彦	委員長
(西 大)	渡 辺 大 治	副 員 長
(東 大)	藤 田 五 郎	副 員 長
(西 大)	昌 安 伸	副 員 長
(東 大)	新 井 至 高	副 員 長
(西 大)	藤 井 孝 樹	副 員 長
(南 大)	世 田 耕 一	副 員 長

青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 菅生 浩三(大阪北)

青少年活動委員会

委員長 西 正 中(大阪城北)

委員 新 堂 庄 二(大阪西)

同 露 口 佳 彦(大阪西南)

同 板 垣 美 一(大阪住吉)

同 片 山 通 夫(枚方くずは)

同 有 賀 一 夫(大阪住之江)

同 三 好 勝(大阪天満橋)

同 藤 満 宣 夫(千 里)

同 山 口 愛 彦(四 条 畷)

例年通りライラを2回、少年少女ニコニコキャンプを1回実施しますが、ややマンネリ化のきらいがあるライラのプログラム内容を検討してみたいと考えています。

1. ライラ-RYLA-(青少年指導者養成セミナー)の実施

これまで通り秋と春の2回実施します。今年度は少し勉強の度合いの高い内容へ変えてみたい。青少年の参加が大変多くなり、またその意識も大きく変化しています。

①山のライラ ホスト：大阪住之江RC

1993年9月24日～26日 大阪府立青少年野外活動センター(能勢町)

②海のライラ ホスト：四条畷RC

1994年5月3日～5日 大阪府立青少年海洋センター(岬町淡輪)

2. 少年少女ニコニコキャンプの実施

小学校5・6年生を対象に、2泊3日のキャンプを通して、自然と親しみ、集団生活を体験して、新しい友だちも作ってもらおうというプログラムです。また、ライラの参加者やRAC・IACの青少年をリーダーにして、リーダーとしての実地訓練をすることも目的です。

今年度も再度海で実施いたします。

1993年 8月 6日～8日 大阪府立青少年海洋センター（岬町淡輪）

ホストクラブ：大阪住吉RC

3. ライラマニュアルの改訂

最近の資料を加えて改訂版を発行いたします。

ローターアクト委員会

委員長	北村英一(吹田)
委員	目幸等僊(大阪天満橋)
同	伊藤七郎(大阪東)
同	大槻太郎(大阪淀川)
同	青木達也(大阪西南)
同	飯原弘章(大阪住吉)

- (1) 昨年度の最大目標に掲げていた新クラブ結成は、当初予想もしていなかった3クラブ（1月19日大阪梅田、4月21日大阪空港、5月6日東大阪東RAC）が次々と誕生し、地区22クラブとなった事は、この上ない喜びであった。又この新クラブ創立に刺激されて、各クラブの会員増強も次第に高まりを見せ、地区会員総数460名はアジア第1、第3ゾーン33地区内で3番目の高位置に躍進する事が出来た。これは各提唱RCのたいへんご努力によるところで厚く感謝申し上げると共に、アクトに対する今後一層の援助、指導をお願いしたい。又現在RAC設立を目指している2クラブを支援して本年度中に是非共結成にこぎつけたい。
- (2) 本年度地区ターゲットは「RACを学ぼう、奉仕を楽しもう」で、RACライフを楽しみつつロータリー精神を学び人格の向上、リーダーとしての資質を高めて行きたい。
- (3) 海外研修は香港、マカオに11月20日～23日（土、日、月、火祝）3泊4日の予定。現地RACとの交流と社会奉仕活動を主としたスケジュールを組んでいる。
- (4) 昨年始めて第2640地区との交流を行ったが、今年度は当地区RAC大運動会に招待して親睦を深める。又、国内他地区、海外RACとの交流を一層深めるよう努力したい。

1993～94年度 ローターアクト役員

地区代表 橋本 幸治(吹田)

地区幹事 山本 紫華樹(大阪西南)

地区副幹事 平野 究一郎(大阪天満橋)

地区会計 南野 幸子(守口)

大阪ゾーン代理 奥村 卓司(東大阪)

北大阪ゾーン代理 錦 織 伸(高槻)

地区RAC一覧表 (ABC順)

北大阪ゾーン 枚方RAC、茨木RAC、池田RAC、守口RAC、寝屋川RAC、
(8クラブ) 大阪空港RAC、吹田RAC、高槻RAC

大阪ゾーン 東大阪RAC、東大阪東RAC、大阪RAC、大阪東RAC、
(14クラブ) 大阪平野RAC、大阪北RAC、大阪南RAC、大阪西RAC、
大阪西南RAC、大阪住吉RAC、大阪天満橋RAC、大阪梅田RAC、
大阪淀川RAC、八尾東RAC

地区RAC	代表者	所属	担当	備考
枚方RAC	橋本 幸治	吹田		
茨木RAC	山本 紫華樹	大阪西南		
池田RAC	平野 究一郎	大阪天満橋		
守口RAC	南野 幸子	守口		
寝屋川RAC	奥村 卓司	東大阪		
大阪空港RAC	錦 織 伸	高槻		
吹田RAC				
高槻RAC				
東大阪RAC				
東大阪東RAC				
大阪RAC				
大阪東RAC				
大阪平野RAC				
大阪北RAC				
大阪南RAC				
大阪西RAC				
大阪西南RAC				
大阪住吉RAC				
大阪天満橋RAC				
大阪梅田RAC				
大阪淀川RAC				
八尾東RAC				

1993～'94年度 国際ロータリー第2660地区ローターアクト年間活動計画

年度	開催日			行事	ホスト
	月	日	曜日		
'93	7	25	日	リーダーシップ・フォーラム及び地区研修会	守口 R A C
		26	月	前期提唱 R C ローターアクト正副委員長会議	地区委員会
	8	6～8	金～日	少年少女ニコニコキャンプ・リーダー奉仕(岬町)	地区青少年活動委員会
		22	日	第1回 献血	八尾東 R A C
		29	日	第1回 海外研修オリエンテーション	地区 R A C 役員
	9	12	日	大阪ゾーン交流会	大阪天満橋 R A C
		19	日	第2回 海外研修オリエンテーション	地区 R A C 役員
		24～26	金～日	R Y L A セミナー参加(能勢町)	地区青少年活動委員会
	10	24	日	地区大運動会及び第2640地区との交流会	大阪淀川大阪梅田 R A C
		31	日	第3回 海外研修オリエンテーション	地区 R A C 役員
	11	20～23	土～火	海外研修 香港・マカオ	地区 R C R A C
	12	12	日	R C, R A C ジョイントパーティー	大阪西 R A C
'94	1	8	土	北大阪ゾーン・スポーツ大会	高槻大阪空港 R A C
		1		海外研修反省会	地区 R A C 役員
		27	木	後期提唱 R C ローターアクト正副委員長会議	地区委員会
	2	6	日	地区連絡協議会	大阪西南 R A C
		6	日	第2回 献血	大阪北 R A C
	3	6	日	世界ローターアクト DAY	東大阪東大阪 R A C
		12～13	土～日	アジア第1、第3ゾーン・ローターアクト研修会(兵庫県南淡町)	2680地区
	4	8～9	金～土	ロータリー年次大会参加	茨木 R C
		10	日	大阪ゾーンスポーツ大会	大阪住吉 R A C
	5	3～5	火～木(祝)	R Y L A セミナー参加(岬町)	地区青少年活動委員会
		22	日	地区ローターアクト年次大会	吹田 R A C
	6	12	日	新旧理事役員会	茨木 R A C

インターアクト委員会

委員長	中島孝夫(八尾)
委員	元木純邦(大阪南)
同	新井貴一(大阪阪南)
同	朝倉良(大阪城南)
同	松下文武(大阪阿倍野)
同	木會英次郎(大阪住吉)
同	田中祥介(大東)

インターアクト提唱RC

大阪RC	1968.7.16	大阪市立東高等学校 IAC
大阪南RC	1975.7.22	清風学園高等学校 IAC
大東RC	1979.6.8	大阪桐蔭高等学校 IAC
大阪南西RC	1979.12.17	大阪教育大付属平野 IAC
大阪住吉RC	1982.4.1	浪速高等学校 IAC
大阪阪南RC	1983.3.17	四天王寺学園 IAC
八尾RC	1987.9.19	金光八尾高等学校 IAC
大阪阿倍野RC	1988.6.18	大谷学園中高等学校 IAC
大阪城南RC	1989.4.22	明浄学院高等学校 IAC

インターアクト	地区代表	大谷学園中高等学校 IAC	坂口知香子
	地区幹事	清風学園高等学校 IAC	小林央和
インターアクト	顧問代表	大谷学園中高等学校	藤原謙次
	〃	清風学園高等学校	門出三生夫

活動方針

- (1) 当委員会は、提唱9ロータリークラブの理解と協力を得て、加盟校の顧問、インターアクターと協調して、本年度RIテーマ「行動に信念を 信念は行動に」を推進すると共に、各校の実情に即した奉仕活動を提唱ロータリーの協力にて実施する。

(2) 昨年度にインターアクト活動の原則を定款等により、再確認する機会をもった。
海外研修要項についても同様であった、そこで本年は、確認事項に基づき活動を行うよう指導する。

(3) 当年度は主なインターアクト活動を3分割して実施する初年度にあたる。

主幹事校は大阪阿倍野RCの提唱する大谷学園中高等学校で、年次大会、新入生歓迎会を主催する。海外研修は大阪南RCと清風学園高校が担当する。

報告書は、情報誌として以前「スクラム」あったのを再度登場させて、年数度発行することになった。担当は大阪阿倍野RC提唱の浪速高校である。

(4) 海外研修は、本年度タイ国バンコクに決定している。

相互の地区が連絡しあい、奉仕・交流をメインに海外研修の実をあげるよう努力したい。第3350地区のガバナー並びにインターアクト委員長とは手紙にて交歓が始まっている。8月21日より4泊5日の計画である。

(5) インターアクトクラブを、未提唱のロータリークラブに対して設立を依頼する。

学校単位のインターアクトクラブ提唱と共に、地域内でのロータリー手作りのインターアクトクラブ設立がここ数年の念願である、推進のため協力を要請したい。

1993～'94年度 地区委員会活動予定

インターアクト委員会

月	日	曜日	摘	要
6	24	木	海外研修下見会 タイ バンコク	第3350地区
6	29	火	提唱RC I A 正副委員長会議	薬業年金会館
7	24	土	加盟校 顧問会議	清風学園高校
7	31	土	海外研修オリエンテーション	中小企業会館
8	10	火	加盟校 顧問会議 海外研修実行委員会	清風高校
8	26	木	～30海外研修旅行 タイ バンコク	第3350地区
9	11	土	海外研修反省会	
9	14	火	地区委員会	
9	18	土	加盟校 顧問会議	清風学園高校
10	30	土	リーダーシップフォーラム	清風学園高校
11	13	土	年次大会 準備会	大谷学園中高校
11	14	日	年次大会	大谷学園中高校
1	18	火	加盟校 顧問会議	清風学園高校
1	25	火	提唱 RC I A 正副委員長会議	薬業年金会館
3	29	火	地区委員会	
5	21	土	加盟校 顧問会議	清風学園高校
6	5	日	新入生歓迎会	大谷学園中高担当
そ の 他				

国際奉仕部門

担当バスター・ガバナー 坂 東 宏(吹 田)

世界社会奉仕委員会

委員長	藤 井 宏 一(大阪西北)
委員	堀 内 顕(八尾東)
同	吉 川 謹 司(東大阪東)
同	横 山 守 雄(大阪中央)
同	坂 本 旭(大阪東淀)
同	一 瀬 昌 夫(大阪堂島)
同(ガバナー)	中 野 董 夫(大阪阪南)

I 活動方針

世界社会奉仕とは「ある国の一つ又は複数のロータリークラブが他国の社会奉仕プロジェクトの実施のためにその国のロータリークラブに援助を与えることです」となっています。

今世界では貧困飢餓病気等我々の想像を絶する恵まれない多くの人々が日夜生きるため苦闘している状態です。

我々世界社会奉仕(W.C.S.)を担当する者は、地区と地区、クラブとクラブの協力を得ながら多くの生活に苦しんでいる人々の生活向上、自立の援助をするための奉仕活動の実践を根気よく続ける事が必要です。

II 活動計画

1. 各クラブに世界社会奉仕(W.C.S.)の担当者をきめてもらう。
2. 一人でも多くのロータリアンにW.C.S.に理解協力してもらう様努力する。
3. 援助するプロジェクトの正確な調査を行い、実施を確認する様努める。
4. 世界で災害が発生し援助の必要がある時、速やかに各クラブの協力を得て募金し適切な救援活動に参加する。
5. 各クラブから一人当たり5,000円の拠金を受け地区合同のプロジェクトを実施する。
(但し会員一人当たり5,000円以上負担のクラブ単独W.C.S.事業実施のクラブは除く。)

青少年交換委員会

委員長 八木 頼 夫(大 阪)

委員 入 江 和 夫(高 槻)

同 中 一 皓(枚方くずは)

同 三 宅 一 嘉(大阪東南)

同 泉 潔(豊中-大阪
国際空港)

同 林 輝 久(大 阪 東)

同 村 上 白 士(大阪城北)

同 毛 利 哲 三(大阪西南)

同 近 藤 眞 道(高 槻 西)

I 主な年間活動

1. 交換学生派遣受け入れに関する折衝実務。
2. 派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催。
3. 交換学生歓送迎会。
4. ホストクラブ、ホストファミリーのオリエンテーション開催。
5. 来阪学生に就いてホストファミリーよりの率直な意見の聴取。
学生、カウンセラー、ホストファミリーよりの月例報告書の検討。
6. 来日学生を囲む新年会をROTEX(OB)と共に開催し、来日学生の4カ月余の間における日本語能力向上度合を試聴する。
7. 派遣された日本人学生よりのアンケート調査(待遇及び小遣い等に就いて)。
8. 交換国へ派遣される日本人学生の為に交換国地区委員長並びにその関係者よりのアドバイスに就いてアンケート調査をする。
9. 来日学生が通学する高等学校選択の検討を続行する。
10. 学生受け入れ高校、ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状贈呈及び帰国学生への青少年交換留学ディプロマ授与。
11. 広島研修旅行、禅寺一日研修等を計画。地区大会、RYLA等の地区行事への参加。
12. 帰国に際しての受け入れ、派遣両学生の感想文集の発行。

II 青少年交換計画と交換ファンド

青少年交換は、国際理解、国際親善、善意の交換を目標とした手造りの奉仕活動であると考えられる。従って関係者の苦勞と忍耐には心から感謝したい。

今年度（1993～1994年度）と前年度（1992～1993年）の長期、短期交換の状況は別記の通りである。

青少年交換はロータリアンによる多大の奉仕援助で成立するものであるから一般の学生のみならずロータリアンの子弟の積極的な参加を求めたいと思う。

青少年交換ファンドの為に地区の全員から年間3000円の拠金を頂き、それを交換計画実施経費として学生交換ホストクラブの援助費等に当てる事とする（長期交換に対してのみ）。

レックス（交換学生OB、OG会）にその活動が機能を充実していくよう援助し、来日及び派遣交換学生のオリエンテーション等に際して、各自の体験を生かし具体的な交換生活を説明させる。またレックス学生には、ローターアクト、インターアクトに入るよう薦め、ロータリーとの縁が切れないようにしたい。

毎年度、新たに長期、短期青少年交換に参加するクラブを見出し4～5年に一度は各クラブが青少年交換を実施されるよう求めたい。

I〕長期派遣学生 (1992~1993年)

No.	氏 名	性別	年齢	ホストRC	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	佐藤 真理子	女	16	ALBINA, OREGON	5100	U.S.A
	大阪 鶴見			〒538 大阪市鶴見区放出東3-9-6		
2	菊地 玲子	女	16	DOWN TOWN FT. WAYNE, INDIANA	6540	U.S.A
	高 槻 西			〒569 高槻市玉川2丁目15-303		
3	竹 淵 喜 美 子	女	15	IDAHO	5400	U.S.A
	大阪 東南			〒639-02 奈良県北葛城郡香芝町真美ヶ丘4-10-33		
4	山 崎 正 美	女	16		1810	ド イ ツ
	大阪 東南			〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-10		
5	柴 田 清 児	男	15			ド イ ツ
	大 阪			〒560 豊中市緑丘1-8-11		
6	三 本 知 布	女	17	ST LOUIS PARK, MINNESOTA	5950	U.S.A
	大阪 北淀			〒665 宝塚市千種4-4-13		
7	佐 藤 頼 子	女			7080	カナダ
	大阪 東淀			〒532 大阪市淀川区三国本町3-15-14		

(注) No.1 は、1992年4月~1993年3月

No.2~7は、1992年8月~1993年7月

II〕長期受入学生 (1992~1993年)

No.	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホストRC		
1	BALDWIN, TONI E.	女	16	ONE TREE HILL, AUCKLAND 東大阪中	9910	ニュージーランド
2	KAWAUCHI, FABIO M.	男	16	SAO PAULO SUDESTE 東大阪東	4420	ブラジル
3	BARBOSA GARCIA, GUSTAVO P.	男	17	SAO JOSE DO RIO PRETO 大阪東南	4480	ブラジル
4	SCHERZ, TINA E.	女	17	WEST MOUNT 高槻西	7040	カナダ
5	THIRY, PAMELA	女	16	DAUN EIFEL 大阪東南	1810	ド イ ツ
6	JASKILKA, JULIE R.	女	16	TIGARD, OREGON 大阪鶴見	5100	U.S.A
7	ERDMANN, LINDY M.	女	18	ST. CLOUD, MN 大阪北淀	5950	U.S.A
8	WALTER, EVAN A.	男	17	SAN ANTONIO, TX 大阪南	5840	U.S.A
9	O'BRIEN, MIKE P.	男	16	BURLINGTON LAKESHORE 大阪東淀	7080	カナダ

(注) No.1 は、1992年1月~1993年1月

No.2 は、1992年4月~1993年3月

No.3~9は、1992年8月~1993年7月

I〕長期派遣学生 (1993~1994年)

No	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	藤 原 あ や	女	16	MAUNGATUROTO	9910	N.Z
	東 大 阪 中			〒631 奈良市学園南1-9-13		
2	桂 川 直 子	女	16	LE SUEUR,MN	5950/60	U.S.A
	高 槻 西			〒509-16 岐阜県金山町下原516		
3	矢 野 真 由 美	女	18	SUN ANTONIO AIRPORT,TX	5840	U.S.A
	吹 田 西			〒562 箕面市粟生間谷西2-6-11-506		
4	村 上 正 晃	男	17		6050	U.S.A
	大 阪 う つ ぼ			〒569 高槻市上土室2-1-1		
5	片 山 珠 季	女	16	WEST MOUNT	7040	CANADA
	枚 方 く ず は			〒573-01 枚方市長尾元町2-7-6		
6	蛭 原 弘 雅	男	16	WARRENTON,MO	6270	U.S.A
	大 阪 南			〒661 尼崎市武庫之荘2-19-12		
7	小 西 光 治	男	17	JESUS MARIA,CORDOBA	4810	アルゼンチン
	大 阪 住 吉			〒547 大阪市平野区喜連3-4-15		

(注)No.1 は、1993年3月~1994年2月

No.2~7 は、1993年8月~1994年7月

II〕長期受入学生 (1993~1994年)

No	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホ ス ト R C		
1	SEIKE,GILBERTO	男	17	TANGARA DA SERRA 枚方くずは	4440 (4680)	ブラジル
2	FOLEY,TAMMY E	女	18	RED WING,MN 大阪柏原	5950/60	U.S.A
3	PARNAU,SARAH,J	女	17	MILWAUKEE,WI 吹 田 西	6270	U.S.A
4	BOECKER,BIRGA	女	19	EMMERICH-REFS 大 阪	1870	ド イ ツ
5	FOUQUET,YVAN P.S	男	18	ST-JEAN-DE-MONTS 高 槻 西	1720	フ ラ ン ス
6	FORNI,M.NATALIA	女	18	GENERAL PAZ,CO 大阪住吉	4810	アルゼンチン
7	MORGAN,SUMMER E.	女	16	GALVESTON,TX 大阪本町	5910	U.S.A
8	AKASHI,MARCELO Y H	男	15	CINQUENTENARIO 茨 木	4480	ブラジル
9	ISHIMOTO,TATIANA,S.	女	16		4430	ブラジル

(注)1993年8月~1994年7月

Ⅲ] 短期派遣学生 (1993年)

No.	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサーRC			住 所		
1	橋 本 知 子	女	21			ITALY
	池 田			〒563 池田市天神1-6-12		
2	山 本 浩 子	女	16			ITALY
	大 阪 難 波			〒556 大阪市浪速区幸町3-1-13		
3	浦 野 智 子	女	16			ITALY
	茨 木			〒567 茨木市紫明園10-22		
4	高 橋 里 佳	女	17			ITALY
	大 阪 鶴 見			〒612 京都市伏見区深草瓦町52-4		
5	吉 本 仁 美	女	20			ITALY
	大 阪 平 野			〒581 八尾市神宮寺4-90		
6	北 野 輝	女	17			ITALY
	大 阪 船 場			〒567 茨木市北春日丘3-4-20		

(注)1993年7月～8月

Ⅳ] 短期受入学生 (1993年)

No.	氏 名	性別	年齢	スポンサーRC	地区	国 名
				ホ ス ト R C		
1	MOELLER-HERRMANN,MASCHA	女	18	PFORZHEIM 八尾中央	D-1830	ド イ ツ
2	PAPADIA,MARINA	女	16	GENOVA EST 大阪鶴見	D-2030	イ タ リ ー
3	TARO,INGRID	女	16	大阪船場	D-2030	イ タ リ ー
4	DI MAGGIO,MAURO	男	18	TARANTO 大阪難波	D-2040 (2100)	イ タ リ ー
5	PAPA,ANGELA	女	17	CASERTA 大阪平野	D-2040 (2100)	イ タ リ ー
6	RIJBROEK,GAIA	女	19	池 田	D-2050	イ タ リ ー
7		女		茨 木		イ タ リ ー

(注)1993年7月～8月

国際交流・平和委員会

委員長	野村浩司(大阪港)
委員	松本一夫(大阪中央)
同	小山雄三(大阪東)
同	笹井敏之(大阪阪和)
同	徳永孝哉(大阪船場)

1) 国際大会

1993年～1994年の国際大会は中華民国台湾の台北で1994年6月12日～15日まで開催される。韓国同様近隣の国でもあり、過去の韓国大会同様多くの参加者を送り出したい。台湾の方では、日本から15,000名以上の参加者を希望されているので、当第2660地区からは1,500名ぐらいの参加者を期待している。当地区には台湾のクラブとの姉妹クラブも24クラブあり、一人でも多くの参加を出すためにあらゆる機会を通じてアピールをしたい。

2) 姉妹・友好クラブ

当地区においては姉妹・友好クラブの交流も年ごとに積極的になり、具体的な交流も行われている。又それを通じてW.C.S.及び青少年交換も行われ、年ごとにクラブとしても行動に移されて来ている。しかし未だ地区内17クラブが姉妹・友好共締結されていないので、そのクラブから姉妹・友好クラブの締結促進を行いたい。又8月末に各クラブ国際奉仕(国際交流・平和)委員長会議を行う予定をしているので、7月中に姉妹クラブについての出来るだけ詳しい、又具体的な活動状況のアンケートを取る。その結果を出来るだけ詳しくガバナー月信で紹介する。

3) 世界親睦活動(WFA)

日本のロータリアンは世界的交流についてはあまり積極的ではないが、何度もアピールをくりかえす事により少しずつなじんで来るので、本年も機会を通じて世界親睦活動を紹介し、FOAR(ハム)についての会員の方が現在活躍されているので、他の親睦活動についても参加を呼びかける。

4) 友情交換

実行できるまでは時間がかかり困難な事であるが、色々な機会を通してアピールを行って行く。8月の各クラブ国際奉仕（国際交流・平和）委員長会議においても再度説明を行い、意識の向上に努める。

5) 平和委員会

平和についての意識を持っていただくよう努める。又1994年2月、国際理解月間中に平和プログラムを持っていただき、各クラブでフォーラムの開催をお願いし、結果報告をしていただきガバナー月信にて紹介する。

6) 伝達

国際交流・平和委員会に関する通知及び伝達事項、国際大会に関するニュースは出来るかぎりガバナー月信に掲載し紹介をする。

<その他>

前期同様各クラブにおいて国際交流・平和委員会のないクラブには設置のお願いをする。

ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 古田 敬 三(大 阪)

ロータリー財団委員会

委員長 古田 敬 三(大 阪)

委員 名張 隆 政(吹 田)

同 細 江 重(大阪東淀)

同 田 中 穰 二(大阪西南)

同 大 井 勝 利(東大阪西)

ロータリー財団委員会の責務

1. ロータリー財団が国際理解と世界平和の為に、極めて重要なプログラムを実行しつつあることを地区ロータリアンに認識して貰うことに努める。
2. 地区ガバナーが地区内各クラブの財団プログラムを推進するにつき援助協力する。
3. 財団各小委員会活動の調整を図る。
4. ガバナーの決定した1993～'94年度一般寄付額1人当り\$130の目標達成に協力する。
5. ポール・ハリスフェロー、準ポール・ハリスフェロー、マルチプルポール・ハリスフェローと共にベネファクターの増加を勧奨する。
6. 財団の新しいシェアシステムにつき地区内各クラブに説明、今後の理解協力を求める。
7. 11月のロータリー財団月間には、各クラブに特別プログラム及び特別募金をお願いする。
8. 地区大会において表彰されるべきロータリー財団特別功労賞、ロータリー財団功労賞、ロータリー財団地区奉仕賞、各候補者をガバナーに推薦する。

国際親善奨学金委員会

委員長	名 張 隆 政(吹 田)
委員	大 川 進一郎(大 東)
同	大 野 真 義(高 槻)
同	西 原 明(大阪心斎橋)
同	小 野 典 郎(大阪阿倍野)
同	阿 部 成之助(大阪鶴見)
同	林 喜 英(箕 面)

本年度の活動計画

1. 1994～'95年度奨学金受領候補者の地区選考は、本年6月12日および26日の二次にわたって実施されたが、20名の正候補者と5名の補欠について地区確認事項を記載した申請書を、7月末までに財団に送付の予定。
2. 財団本部からの合格内示が到達予定の10月23日、正候補者とその顧問ロータリアン合同の第1回オリエンテーションを開催し、来年3月12日に第2回として中間報告、6月4日には壮行会を兼ねて第3回を催す予定。また、その機会に文化、宗教、食事マナー等のレクチュアを実施する。
3. 本年5月29日に新旧地区財団国際親善奨学金委員会を開催、新年度活動方針の確認その他を協議し、爾後必要に応じて、委員会を開催する予定。
4. 本年12月11日の各クラブ財団委員長会議に、奨学生の現況と、1995～'96年度奨学金申請要領を説明する。
5. 1995～'96年度奨学金申請書について、クラブ受付締め切りは1994年4月末、ガバナ―事務所受付締め切りは5月中旬とし、選考試験は6月中に二次に亘って実施の予定。
6. 本年度受け入れ奨学生は次の通り。

氏 名	留 学 先	ホストクラブ	顧問ロータリアン
金 哲熙(キム チョリヒ)	大阪大学医学部薬理学	箕面中央	岸本卯一郎
金 丙坤(キム ビョンコン)	大阪大学工学部建築系	高 槻 西	菊地 祐生
李 達遠(リ ダルウォン)	大阪大学工学部土木系	守 口	北村 正彦

7. 本年度(1993年9月～'94年6月)留学予定者

一覧表参照

1993～1994年度 財団国際親善奨学生留学先一覧

氏名	年齢	性別	推薦 R C	カウンセラー	留学先	課程	HOST-D
石田久美子	31	女	東大阪中	増田 靖仁	アメリカ	A	5000
河邊 尚子	23	女	茨 木	野口 健一	アメリカ	A	1990
稲見 和洋	29	男	茨 木	橋本 陽二	タ イ	A	3550
武田 晶子	27	女	箕 面	佐伯 吉捷	イギリス	A	1250
小林 知博	21	男	箕 面	大槻 四郎	アメリカ	B	7510
笠原 純子	24	女	箕面中央	浅井 敬一	ド イ ツ	A	1930
橋本 郁子	28	女	寝屋川	大東 豊治	ド イ ツ	A	1840
宮川さおり	22	女	大阪阿倍野	村田 治彦	アメリカ	B	6600
大杉 高司	28	男	大阪東淀	井上 理文	トリニダット	A	7030
篠島 麻子	23	女	大阪城北	川本 晴男	アメリカ	A	7120
佐藤 光	24	男	大阪住之江	成田 重彦	イギリス	A	1130
永田 広昭	30	男	大阪淀川	白山 鴻鍵	アメリカ	E	5040
富山麻理子	23	女	吹 田	金子 義高	アメリカ	A	7620
拓植 尚則	28	男	吹 田	吉岡 諄二	イギリス	A	1020
前田 朋子	23	女	吹田江坂	小野 雅章	アメリカ	A	7230
柏原 郁子	28	女	吹 田 西	中清 巖	イギリス	A	1130
甲田 純生	28	男	高 槻	米田 誠宏	ド イ ツ	A	1890
山下 大悟	25	男	高 槻 西	奥井 敬之	ド イ ツ	A	1810
永谷 益朗	29	男	豊 中	西山 敬之	ド イ ツ	A	1850
本河 裕子	24	女	豊 中 南	堀内 彦仁	ド イ ツ	A	1860
五歩一寿子	29	女	豊中一大阪 国際空港	松下十三雄	アメリカ	A	7930
田中不二夫 (1991～'92)	30	男	茨 木	辰己 克平	アメリカ	A	7510
岩井 信一 (1992～'93)	25	男	守 口	藤原 明弘	ブラジル	A	4750

他に正候補者2名辞退に伴い、追加申請中

財 団 増 進 委 員 会

委員長	田 中 穰 二(大阪西南)
委員	橋 本 孝 司(大阪大手前)
同	谷 口 勉(大阪難波)
同	矢 部 文 治(大阪)
同	西 村 五 郎(大阪城南)
同	山 口 幸 雄(八尾)
同	執 行 経 世(枚方)
同	中 田 康 仁(大阪南)

活 動 方 針

- 1) 地区ロータリー財団委員長を中心として財団各小委員会との緊密な連絡の下に、ロータリアンの「ロータリー財団は自分自身のものである」との認識と自覚を深めると共に、財団プログラム推進のための金銭的支持と参加をもとめる。
- 2) 本年度の寄付目標を一人当り130ドル以上とし、その達成につとめる。
- 3) 引きつづきベネファクターの獲得につとめる。

活 動 計 画

- 1) 委員会を適時開催し、地区および各クラブの現況を把握し、各クラブに必要な情報・資料を提供する。またガバナー月信11月号および4月号に当地区・各クラブの財団寄付額を公表する。
- 2) 各クラブにポール・ハリス準フェロー、ポール・ハリスフェローの増加、とくにマルチプルポール・ハリスフェロー増加をお願いする。
- 3) 9月18日(土)開催のクラブ財団委員長会議のホストをつとめ、財団増進活動の円滑な推進をはかる。
- 4) 財団月間(11月)にはそれにふさわしい行事の実施を各クラブに要請する。
- 5) 同額補助金プロジェクトへの理解と実施を奨励する。
- 6) IGF組別に委員が下記の如く担当し、財団活動の報告と情報を提供する。

組	開催日	ホストクラブ	担当委員
1	9月25日	豊中南	矢部文治
6	10月30日	大阪城東	橋本孝司
3	11月6日	寝屋川	執行経世
8	11月27日	大阪平野	西村五郎
7	1月29日	大阪心斎橋	中田康仁
4	2月12日	東大阪東	山口幸雄
2	2月19日	吹田江坂	田中穰二
5	3月5日	大阪梅田東	谷口勉

財団学友委員会

委員長 大井勝利(東大阪西)

委員 野村正勝(箕面中央)

同 西村一夫(池田)

同 杉森芳雄(東大阪東)

同 木村孝(大阪北)

国際親善奨学生が留学期間終了後帰国してからPSC会員としての役割を充分意識の上行動していただく為にも、今年度より次の事項を実行計画の目標と致します。

- (1) 財団学友委員会を遇数月の第1金曜日に国際交流センターにてPM4時30分より6時迄定期的に開催する。

そして、5時より次年度出発する国際親善奨学生候補者及び顧問ロータリアンを招き6時迄帰国してからの役割を充分説明する。

- (2) PSCの例会を遇数月の第1金曜日に国際交流センターにてPM6時30分より開催致します。PSC例会は帰国留学生の帰国後の交換場所として充実を計りたく思います。

その場所へ次年度出発予定の国際親善奨学生候補者及び顧問ロータリアンに引き続き

出席して頂いて交流を深めたく思う。

- (3) 8月21日(土)PM5時30分～YMCA会館でのPSCの総会及び1993年度帰国歓迎会には、今年度より次年度出発予定の国際親善奨学生候補者も出席義務者と致します。
- (4) 今年度はPSC便り及び学友会名簿も、PSCメンバーと共に地区予算にて発行致します。
- (5) PSCのメンバーを地区国際親善奨学金委員会主催の年間オリエンテーションに多人数出席するように呼びかけ、財団学友委員会からPSCメンバーへ連絡する。
- (6) PSCメンバーによる各ロータリークラブへの卓話を、年間平均的に実行出来るように各クラブへ働きかける。
- (7) 昨年に引き続きPSCメンバーとしてメンバー同志の交流を深め、将来ロータリークラブへ入会する事に先駆けた財団奨学生パストサービスを、海外経験を生かした心掛けが出来る気持ちになれるようにする事が、我々ロータリアンとしての財団学友委員会の大事な役目である。
- (8) 昨年に引き続きPSC例会に出席して頂く顧問ロータリアン及び出席ロータリアンには、当日会費として10,000円を払っていただき当日食事代及びPSC活動資金に入れさせて頂きます。

研究グループ交換委員会

委員長	細江重	(大阪東淀)
委員	木村英一	(大阪住吉)
	同 増田 鼎	(八尾)
	同 東 平介	(寝屋川)
	同 大内昭男	(大阪鶴見)
	同 井上理文	(大阪東淀)
	同 檀村泰信	(摂津)
	同 橋本公宏	(池田)
	同(ガバナー)中野董夫	(大阪阪南)

方 針

1. 本年度のG.S.E.は、アメリカ合衆国第5650地区（ネブラスカとアイオワの一部）との間に、受け入れ派遣を行い、もって国際理解の推進に寄与することにある。
2. 併せて来年以降の組合せに向けて、アメリカ、カナダ、南フランス及び南スウェーデン等との接触を育成発展させ合意の成立を図る。

計 画

1. 受け入れ関係（10月1日(金)より11月1日(日)までの予定）
 - 団 長 カールG.“ジル”ハッセ（'91～'92年度パストガバナー）
 - 団 員 ダニエルG.ボーマン（27才男）保険会社経理
 - ♪ コニー ケイ エバスペッカー（31才女）州議員秘書
 - ♪ クリステイン ケイ ジャンク（27才女）病院医療秘書
 - ♪ 未 定

7月（受け入れ地区組織、プログラムの完成。次年度以降組合せ交渉の推進。）

8月（受け入れプログラム製本完成発送）

9月（地区受け入れ実行委員調整完了）

10月（G.S.E.チーム受け入れ）
2. 派遣関係（'94年3月13日到着より4月15日帰阪までの予定）

団 長 奥 田 実 (大阪東南RC会員)

団 員 河 地 隆 (27才男)ビーフ輸入会社営業課員 (大阪東南RC推薦)

〃 中 西 裕 栄 (30才女) 高校理事長秘書 (大阪住吉RC推薦)

〃 小 田 ひかる (30才女) 看護婦、病院手術室勤務 (大阪梅田RC推薦)

〃 原 田 奈緒美 (28才女) 市長公室秘書 (八尾東RC推薦)

1993年

10月 (派遣手続書類の整備作製)

11月 (派遣の為の書類調整次第R Iへ進達)

12月 (次年度以降のG.S.E.予定合意成立の場合はR Iへ申請書提出)

1994年

2月 (派遣準備完了)

3月 (派遣チーム出発)

4月 (派遣チーム帰阪。帰国報告)

6月 (G.S.E.報告書完成。発送)

3. 単年度内の交換は久しぶりの地区事業であるから、計画実施には特に詳細な配慮と想定のもとに検討する必要がある。
4. 貴重なる過去数多の経験をもとに、G.S.E.の基本的処理要領並びに申し送り事項等の確実なる記録整備を心掛け、今後の混乱と不統一を極力回避するように努める。

米 山 奨 学 部 門

担当パスト・ガバナー 武 尾 敬之助(大阪西北)

米 山 奨 学 委 員 会

アドバイザー

永 野 啓之介(豊中一大阪
国際空港)

委員長 増 本 猛(茨 木 東)

委 員 渡 辺 斌(東大阪中)

同 崎 山 耕 作(大阪住吉)

同 板 垣 周 男(豊中一大阪
国際空港)

同 渋谷 敏 郎(大 阪 北)

同 三 好 三 郎丸(大阪天満橋)

同 清 基 英 昭(池 田)

同 西 野 公 庸(大阪堂島)

学友会担当 平 岡 龍 人(大 阪)

I 募 金 目 標

- 一人当たり 2万円
- 地区総額 約1億1千万円

①普通寄付

一人当たり5千円以上お願いする。

②特別寄付

会員全員に準功労者となっていただくようお願いすると共に、寄付金額については免税措置のあることを強調し、米山ファンドフェロー・米山功労者・米山功労法人になっていただくようお願いする。

II 1994年度米山奨学生選考試験について

1. 申し込み期間 1993年10月1日(金)～10月15日(金)
2. 書類審査 11月 日

地区委員にて書類のチェックと資格審査。

3. 書類選考会議 12月 日

専門委員・地区委員にて行う。

4. 面接試験 1994年2月 日

専門委員・地区委員にて行う。

5. 最終選考会議 1994年2月 日

専門委員・地区委員にて行う。

専門委員：文科系、理科系、医科系各2名宛専門部門のロータリアン6名を委嘱する。

地区委員：ガバナー、ガバナーノミニ、米山記念奨学会地区担当理事、地区米山奨学部門担当パストガバナー、地区米山委員長の5名。

（クラブ米山奨学金（CY）制度の受付は、1993年8月2日(月)～8月16日(月) 1994年3月1日(火)～3月11日(金)です。

Ⅲ 米山月間（10月1日～10月31日）

- ・各クラブで米山奨学委員長、米山奨学生による卓話をお願いする。
- ・依頼があれば地区委員、米山奨学生、学友を斡旋する。
- ・米山奨学事業への理解と協力、寄付の増額をお願いする。

Ⅳ 1993学年度米山奨学生(1993年4月～'94年3月)

継続受給者 23名

新規奨学生 学部学生 4名

大学院 17名

地区米山 9名 (A-1・B-8)

クラブ米山 5名

(韓国28・中国14・台湾6・マレーシア5・タイ3・香港1・ミャンマー1)

Ⅴ 学友会（関西）への援助

米山奨学事業の発展に寄与することを目的とする学友会（関西）を援助し、学友会活動にも積極的に参加し交流を深める。

本年度より学友会担当地区委員1名をおく。

VI 諸行事日程

1993～ '94年度のための地区協議会	5月8日(土)	於：辯天宗信者会館
米山奨学生オリエンテーション	5月12日(水)	♪ 薬業年金会館
新旧地区米山奨学委員会	6月19日(土)	♪ 辯天宗信者会館
クラブ米山奨学委員長会議	9月8日(水)	♪ 薬業年金会館
米山月間	10月1日(金)～10月31日(日)	〔卓話〕地区委員・奨学生・学友
1994年度米山奨学生募集	10月1日(金)～10月15日(金)	
米山奨学生レクリエーション	10月3日(日)	於：宝塚ファミリーランド
米山奨学生書類審査	11月 日()	
米山奨学生面接試験	1994年2月 日()	
米山奨学生最終選考会議	2月 日()	
米山奨学生終了者歓送会	3月6日(日)	於：阪急ターミナルビル7F
米山奨学生新規クラブ決定	4月 日()	
1993～ '94年度 R I 2660地区 地区大会	4月8日(金)	於：辯天宗信者会館
	4月9日(土)	於：辯天宗信者会館
地区米山奨学委員会	3～4回/年	

VII その他

かねて当地区で検討しておりました『日本研究特別米山奨学金』（仮称SY-J）制度が米山記念奨学会の理事会・評議員会にて採択され、1993年度第2660地区において3名試行することになりました。選考の結果、1993年10月より10カ月間大阪市立大学文学部へ1名、1994年1月より8カ月間大阪大学文学部へ1名来日することになりました。

拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 中 西 正 二(大阪西)

拡 大 委 員 会

委 員 長	杉 本 一 三(八尾)
カウンセラー	高 林 辰 行(大阪西北)
同	森 藤 憲 一(大阪城)
委 員	小 西 豊 和(守口)
同	石 津 潤 司(大阪大手前)
同	西 田 陽 一(茨木)

活動方針と計画

- (1) 新クラブが結成できるかどうかをきめるための調査。地域社会の名称、人口、経済的見通し、主要な産業、商業、専門職業活動、教育、医療及びその他の施設、他の団体、RCの元会員、中心人物、例会場向きの場所、調査結果の判断。
- (2) 新クラブ設立のための手引書の作成。
- (3) 新クラブ設立についての具体的な動き。
 - (A) 茨木クラブが新クラブを設立する事を理事会で決定されました。現在、拡大委員会の設置と新クラブにふさわしい職業分類表を作成中です。
又茨木東RCへの協力を要請されました。十分設立できるものと思っております。
 - (B) 昨年度よりの申し送りである北摂、淀川左岸地域ならびに大阪南港周辺での設立をいろいろ模索しております。

ローターの友

地区委員 佐藤康造(茨木)

I 「ロータリーの友」委員会

ロータリーの友委員会は原則として奇数月の第一月曜日に東京において開催されます。

今年度は7月1日東京プリンスホテルにおいて、新地区委員オリエンテーション、新旧委員合同会議、懇親会を行い、新年度の諸事項を検討し併せて運営方針を決定いたします。

II 「ロータリーの友」への出稿

地区委員として「地区のたより」「わがまち・わが地区」のページの編集を担当します。

1. 地区のたより '93年12月号
2. わがまち・わが地区 '94年3月号

III 活動方針

大森慈祥ガバナーの方針のもと、ロータリーの友委員、地区広報雑誌委員長、クラブ広報雑誌委員長と協力して、親しみ易く、役に立つ「ロータリーの友」となるよう広く会員の投稿を呼びかけ、お願いしていききたいと思います。

財 務 委 員 会

委員長 中 村 憲 次(茨 木)
委員 國 分 紀 一(大 阪 南)
同 吉 田 英 哲(大 阪 南)
会 計 鱈 洲 栄 一(茨 木)

1993～'94年度の収支予算の編成にあたり、収入の基本となる地区資金は一人当たり15,000円と据置き、収入総額10,450万円とした。

支出については、委員会活動費を各委員長の事業計画に基づいた予算額を2,804万円とし、他の支出予算と併せて総額を9,300万円とした。

I 収 入

- (1) 前年繰越金については直近の実算に基づき、前年度予算額より200万円増の1,900万円とした。
- (2) 地区資金は1993年2月末日の会員数5,455人の150名増加を見込み、5,600人、前年予算額の75万円の増加とした。

II 支 出

委員会活動費については、ほぼ要求額通りとし、本年度事業計画を参考とし、広報・雑誌委員会と財団学友会を増額した。

- (1) 広報・雑誌委員会は1992～'93年度社会奉仕活動のビデオ作成費の半額40万円を増額した。
- (2) 研究グループ交換委員会は、GSEネブラスカチームの受け入れと派遣が重なり、前年比570万円の増額とし総額を700万円とした。
- (3) 財団学友委員会は名簿作成費30万円を増額した。
- (4) 会議費を前年比58万円増額し、ガバナー事務所費を140万円減額した。

地 区 大 会

委員 長 坂 井 正 男(茨 木)
 プログラム
 委員 長 寺 野 福 男(茨 木)
 幹 事 橋 本 秀 雄(茨 木)

(1) ガバナー就任の前年度より、地区代表幹事、プログラム委員長、ホストクラブ会長を中心とする大会準備委員会を発足させ、ガバナーの基本方針を十分に確認しながら会場の関係等を考慮しながら全体の構想を練ってきました。7月中に実行委員会に移し、細部に亘って検討し、実行に移していく予定です。

(2) 地区大会の日程及び開催場所

平成6年(1994年)4月8日(金) 於：茨木市辯天宗冥応寺信者会館

シンポジウム

部門別懇談会

夫人のつどい

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

平成6年(1994年)4月9日(土) 於：茨木市辯天宗冥応寺信者会館

本 会 議

尚、記念ゴルフ大会は、4月6日(水) 茨木カントリークラブで行います。

(3) 地区大会の内容については、久しぶりに大阪市内を離れて、北摂での開催でもあり、歴史上又文化面にもすぐれた茨木にふさわしいローカルカラーのシンポジウムと桜花爛漫の会場で、基本方針に添い、楽しい集いが親睦の和を広げ、参加者の心に残る大会にしたいと考えています。

1993～1994年度 国際ロータリー第2660地区

収 支 予 算 書

作成 1993年3月1日
承認 1993年5月8日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
前 期 繰 越 金	19,000,000	17,000,000
R. I. 交 付 金	800,000	800,000
地区資金 (15,000円×5,600人)	84,000,000	83,250,000
雑 収 入	700,000	700,000
合 計	104,500,000	101,750,000

ガバナー 大 森 慈 祥
財務委員長 中 村 憲 次
会 計 鰐 州 栄 一

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
委 員 会 活 動 費	28,040,000	22,390,000
地区ガバナー指名委員会	200,000	200,000
意義ある業績賞委員会	50,000	50,000
クラブ奉仕部門		
会員増強委員会	200,000	200,000
広報雑誌委員会	900,000	500,000
規定情報委員会	600,000	700,000
職業奉仕部門		
職業奉仕委員会	400,000	400,000
ボランティア委員会	150,000	150,000
社会奉仕部門		
社会奉仕委員会	1,300,000	1,950,000
環境保全委員会	250,000	250,000
青少年奉仕部門		
青少年活動委員会	2,600,000	2,600,000
インターアクト委員会	3,200,000	3,200,000
ローターアクト委員会	5,700,000	5,700,000
国際奉仕部門		
世界社会奉仕委員会	200,000	200,000
青少年交換委員会	500,000	500,000
国際交流・平和委員会	250,000	250,000
ロータリー財務部門		
ロータリー財団委員会	100,000	100,000
国際親善奨学金委員会	1,750,000	1,500,000
研究グループ交換委員会	7,000,000	1,300,000
財団増進委員会	240,000	240,000
財団学友委員会	750,000	600,000
米山奨学部門		
米山奨学委員会	700,000	700,000
拡大部門		
拡大委員会	200,000	200,000
委員会活動予備費	800,000	900,000
会 議 費	9,220,000	8,640,000
地区大会補助	300,000	310,000
地区協議会補助	300,000	310,000
地区委員会	4,000,000	3,500,000
ガバナー打合せ会議費	2,500,000	2,100,000
R. I. 会長記念品代	160,000	160,000
同上 歓迎費	370,000	370,000
直前ガバナー記念品代	260,000	260,000
G. N. 国際会議参加補助	830,000	830,000
予 備 費	500,000	800,000
日本国内地区ガバナー会 200円×5,600人	1,120,000	1,110,000
ロータリー文庫協力費 300円×5,600人	1,680,000	1,665,000
地区大会分担金 3,000円×5,600人	16,800,000	16,650,000
ガバナー 月 信 印 刷 費	10,000,000	9,700,000
製版・印刷・送料・ホルダー	9,500,000	9,400,000
予 備 費	500,000	300,000
ガバナー 事 務 所 経 費	26,140,000	27,540,000
合 計	93,000,000	87,695,000
次 年 度 繰 越 金	11,500,000	14,055,000

	'93年12月末	'93年2月末
クラブ数	76	76
会員数	5,600(予)	5,455

(単位:円)

ガバナー事務所経費内訳			
科 目	予 算 額	前年度予算額	
借室料・熱費	3,250,000	5,160,000	
賃 金 給 料	13,200,000	12,920,000	
ガバナー交通会費	1,300,000	1,300,000	
印 刷 費	1,800,000	1,600,000	
交通通信費	2,400,000	2,400,000	
文 献 費	160,000	160,000	
事務用消耗品費	1,100,000	1,100,000	
什器備品費	600,000	600,000	
雑 費	1,800,000	1,800,000	
予 備 費	530,000	500,000	
合 計	26,140,000	27,540,000	

